

た + す + と

2010年3月

第11号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2～3 地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査結果報告
**多賀城市内のお店と会社、1000社に聞きました！
まちと企業の幸せなカタチとは？**
- P 4 第3回マネジメント講座開催報告
活動が変わる！運営力をつけるコツ
- P 5 NPOいちから塾開催報告
「NPOって何？」の疑問にお答えします
たがサポブックレビュー
『団塊世代の地域デビュー心得帳～心豊かなセカンドステージへ～』
- P 6 **たがサポ事業紹介**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



来館の際は、こちらにもお立ち寄りください。
絶賛発売中。

→詳しくは右のコーナーへ

NPO・市民活動団体が、自分たちの活動をPRしたり報告したりするために本を出版していることを知っていますか？

「え！知らなかったあ。」という方もたくさんいると思います。それも当然です。NPOに関する本は、一般書店ではあまり取り扱っていません。たとえ運良く店頭に並んだとしても、目立たない専門書コーナーにだけ置かれていることが多いようです。

たがサポの情報サロンには『委託図書販売』のコーナーがあり、現在13冊の本を置いています。ここで、NPOや市民活動に関する貴重な本を買うことができます。これらの本を購入することによって団体の活動支援につながったり、詳しい活動内容を知ることできます。中には「NPOを始めたい！」「NPOって何？」など新たな活動の参考になる本も並んでいます。

たがサポに来館したときは、たがサポ文庫と合わせてご覧ください。思わず手を伸ばしたくなるスタッフの紹介文にも注目です。もちろん、委託販売の申し込みもお待ちしておりますよ。

地元企業による地域貢献・社会貢献活動調査結果報告

多賀城市内のお店と会社、1000社に聞きました！ まちと企業の幸せなカタチとは？

多賀城市市民活動サポートセンターでは、昨年12月に市内の企業・商工業者約1000社を対象とした地域貢献・社会貢献活動についてのアンケート調査を行い、企業や商店が地域とどのような関わりを深めているのかについて調べました(回答率17.9%)。

その結果、企業やお店、そして経営者のみなさんが、地域づくりに関心を持って取り組みを進めている状況が見えてきました。

■調査から見えた 企業・商工業者の傾向と特徴

調査結果から、企業・商工業者のみなさんについては以下のような特徴がありました。

※従業員数による規模は「家族のみ」と「10人まで」という小規模の企業・商店からの回答が70%を占めました。

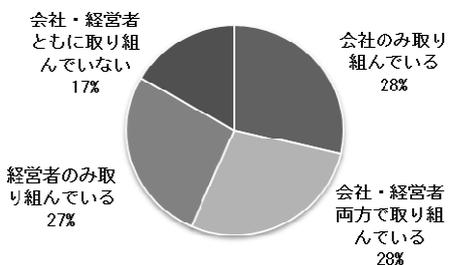
※創業年数は、20年以上事業を継続している会社・商店などが73%を占めました。

※業種は、15種以上に及びましたが、中でも建設・小売・サービス業がそれぞれ20%を占めました。

以上のことから「老舗」として、長く地域経済を支えてきた小規模の建設・小売・サービス業事業者のみなさんから回答を多く寄せていただいたことがわかります。これは、多賀城市における産業構造の特色とも重なっています。

■回答企業の83%が地域貢献活動に 取り組む

地域・社会貢献活動への取り組み状況

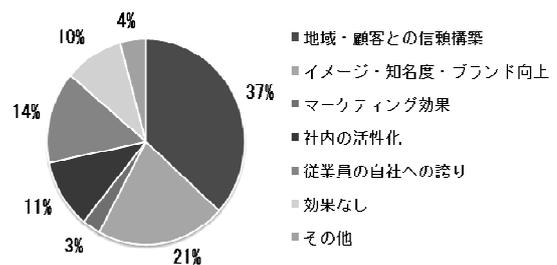


回答があった企業・商工業者のうち、実に83%が会社や経営者個人として何らかの地域・社会貢献活動に取り組んでいる、という結果となりました。また、規模の大きい事業所ほど、企業としてさまざまな経営資源を地域に提供していることも明らかになりました。

■効果は顧客の信頼向上のみならず？！

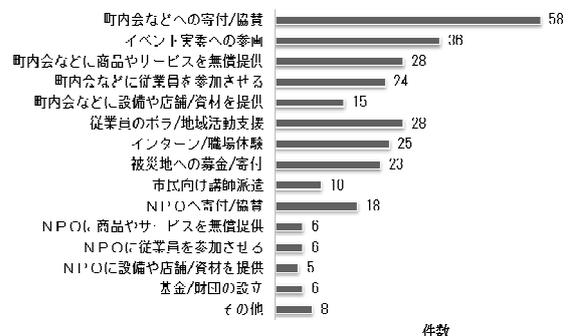
地域・社会貢献活動に取り組むことにより得られている効果としては「地域・顧客との信頼構築」が最も多い結果となりました。一方で「社内の活性化」「従業員が自社に誇りを深める」という社内組織への好影響をあげる企業も25%を占めました。

企業が得られている効果



■具体的な取り組みは 町内会への協力が多数

企業の具体的な取り組み内容

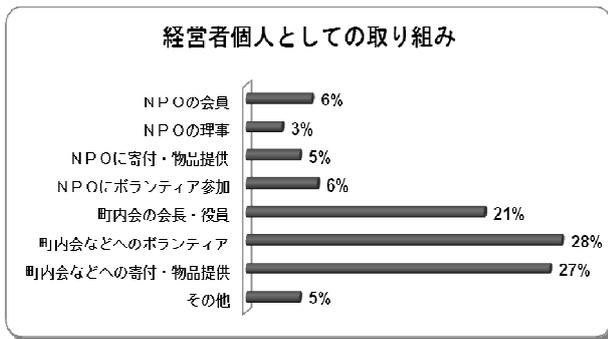


具体的な地域・社会貢献活動の内容は町内会への協力が多く、特に地域イベント等に対する「協賛金・寄付金の提供」に多くの回答が集まりました。しかし、それ以外にもさまざま

まな取り組みがあり、NPOへの協力事例も回答に含まれていました。

■経営者としても町内会へ積極的に協力

回答を寄せた経営者のうち21%が役員として、28%が何らかのボランティアとして、町内会活動に積極的に参画しています。地元企業は地域活動における人材供給源として、非常に大きな役割を果たしていることがわかります。また、NPO活動への参画を進めている経営者もあり、中には理事として団体運営を担う事例もありました。



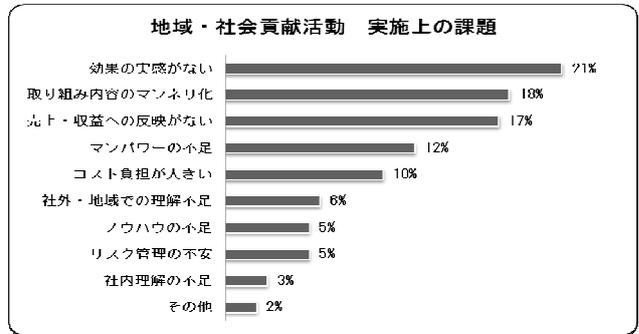
■実施企業の97%が取り組みの継続に前向き

地域・社会貢献活動を実施している会社のうち、実に97%が今後も取り組みを続けるとの回答を寄りました。同様に、全体の90%以上がその重要性を認めているとの回答を寄せました。地域貢献活動を通じた地域社会への参画について、高い関心と意欲があることがわかります。

■“手ごたえのなさ”を感じる声も…

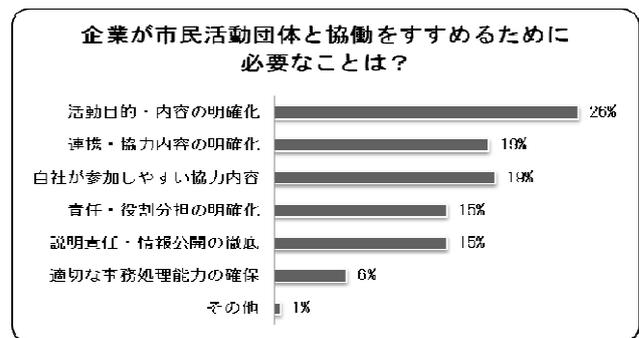
一方で、非常に積極的な取り組みをしているにもかかわらず、効果の実感を得られず、売上や収益へのプラスがないことを指摘する声もありました。また、取り組み内容のマンネリ化についても回答数が多く、今後は、今までとは違う切り口により活動を広げていき

たいという意向の表れともいえる結果が見えてきました。



■企業が市民活動団体に求めることは…?

市民活動団体と協働を進めるために必要と考えていることは、団体の目的・内容や協働の中身を明らかにすること、そして、企業が参加しやすい取り組みや機会が得られるかどうかということでした。つまり、市民活動団体には、企業や市民に向けたより積極的な情報公開と、協働につながりやすい内容や機会の提案が求められています。



■地域貢献活動で、企業も地域も元気に！

今回の調査を通じ、市内の地元企業が地域貢献活動を重視しているとともに、地域社会を支える大きな力となっている状況が明らかとなりました。

今後、当センターでは、この調査結果をもとに、企業と地域社会の協働を促進し、双方にとって実りのある取り組みとなるよう、さまざまなサポートをしていきます。

第3回マネジメント講座開催報告

活動が変わる！運営力をつけるコツ

市民活動や地域活動で出てくるさまざまな悩み。そんな悩みの解決のヒントとなるコツや考え方をお伝えするのが「マネジメント講座」です。

今年度最後の講座は、みなさんが活動する上で必要な「団体運営と活動のコツ」がテーマ。

市民活動団体や町内会、ボランティアの方など14名が参加しました。

日時：平成21年12月12日(土)

午後1時30分～4時30分

会場：多賀城市市民活動サポートセンター
大会議室

講師：特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター

代表理事

加藤哲夫さん

元気な市民活動を続けていくには、効果的な団体運営が必要です。この講座では講師の加藤さんから、事務作業、事業設計、スタッフ内の情報伝達、広報、資金集め、そして活動に欠かすことのできない仲間づくりの仕方について、具体的な事例をもとにお話いただきました。今回は、特に受講者から多く寄せられた悩みを中心に、すぐに役立つ活動のコツをご紹介します。

●参加しやすい キーワードを つくる



受講者からは「運営の担い手不足」「イベントの参加者が少ない」など、協力者や参加者が集まらないという悩みが寄せられました。仲間づくりをするときに、いきなり「活動に参加してください」と誘ってしまうと、参加する側は「スタッフやボランティアになると、やめにくいのでは？」という不安を感じ、参加しにくくなります。また「どんな方でも大募集」という見出しでは、かえって人が集まりにくくなります。誰でも良いのであれば、見る人の心に響かないからです。

メンバーを募集するときには、

①何を目的としている団体で、どんな活動内容なのか？

②活動の頻度や期間は？

(例えば、月2回、3月～5月まで、など)

③どんなことができる人に参加してもらいたいのか？

など、本当に参加してほしい方に向けて、団体のプロフィールや具体的なメッセージを伝えることが大事です。できるときにできる範囲で活動に関わるしくみをつくれれば活動に参加しやすくなります。

●「広場」づくりから始める プロジェクト

明確な目的を決める前から、組織を立ち上げてしまうのも要注意です。例えば「まちづくりをしましょう」と呼びかければ、確かにそれに賛同する人たちは集まるでしょう。しかし「まちづくり」という抽象的な言葉だけでは活動の方向が定まりにくいので、やがて意見が分かれて組織は動かなくなってしまいます。

この段階は、同じようなテーマに興味を持つ人たちを「組織」とせず、誰もが対等に話し合える「広場」にします。そして「広場」では和やかに意見を交わしながら、目的に賛同する人たちでプロジェクトを立ち上げるのです。仙台市で毎年9月に開催される「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の実行委員会もプロジェクト型です。目的が明確で活動期間が決まっているため、学生などの多くの若い世代の人も安心して参加しています。仲間づくりをする上で大事なものは、組織をつくることではなく、目的をはっきりさせて活動に共感する人たちを集めることです。

プロジェクトのメリットは、

①目的がはっきりしているので、活動に共感する人たちを集めやすい。

②短期間で終わりがあり、安心して活動に参加できる。

また、プロジェクト終了後には、打ち上げや飲み会を設定しておくのも、みんなが楽しく活動できるポイントです。

今回の講座では、受講者の方から「今晚からやるのが明確になりました」や「暗闇の中、光が少し見えました」という感想をいただき、今後の活動へ生かせるヒントを持ち帰ったようです。まずは団体運営をもう一度見直すことが次の活動への第一歩となります。

NPOいちから塾開催報告

「NPOって何？」 の疑問にお答えします

たがサポへ寄せられる問い合わせの中でもよくあるのが「NPOって聞いたことがあるけれどよくわからない」というものです。そんな疑問にわかりやすくお答えするのが「NPOいちから塾」。今年度は、約2か月に1回の割合で定期的に開催してきました。多賀城市内をはじめ近隣市町から、のべ46名の方が参加しました。中には新人スタッフ研修として活用いただいている団体もありました。

講座の前半では、実際に多賀城市内や近郊で活躍している団体の事例を紹介しながら、NPOの成り立ち、多様な協力者がいる組織の特徴などを学びました。



後半は、たがサポ探検ツアーと題して、たがサポで利用できるサービスをスタッフが紹介しながら、館内を回りました。



受講者の中には、その後も活動の立ち上げ相談や情報収集に来館される方もいて、一步踏み出すきっかけの講座にもなっています。

今年度のNPOいちから塾は終了しましたが、NPOの基礎情報をまとめた「市民活動お役立ち情報『NPOって何?』」もあります。館内で配布しているほか、ホームページやスタッフブログからダウンロードできます。(URLは6ページをご覧ください) NPOの入門にぴったりの本も「たがサポ文庫」で閲覧・貸出をしています。「委託図書販売コーナー」で購入できる本もあります。

「NPOについて知りたい」という方は、お気軽にスタッフまでおたずねください。

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『団塊世代の地域デビュー心得帳』

～心豊かなセカンドステージへ～

編者：細内信孝

発行：ぎょうせい

発行日：2007年11月12日



★D-002シニアの棚にあります

昭和22年から24年生まれの、いわゆる「団塊の世代」が、2007年から退職期を迎え、毎年約200万人強が地域や家庭に戻ってきています。本書ではそうした退職後の団塊世代の方々を中心に、セカンドライフを地域で豊かに過ごすための取り組みを、すでに「地域デビュー」を果たした先輩たちの事例と共に多数紹介しています。この本を読むと、地域ってホントは

面白いところだったのだと発見があります。そして、今まで身近すぎて見えてこなかった地域の可能性と自分の可能性に気づかされます。

「地域デビュー」の足掛かりとして自分の「棚卸し」を勧めています。会社員時代の肩書きをすっぱり捨て、これまでの人生を通じて積み上げてきた知識や経験など、身につけているものを取り出してみます。その中から地域社会で求められているものを取り出してみると、自分のこれまでの知識や経験が、立派な「資源」になることに気づくでしょう。それをどう活かしていけるか考えていくと、興味の方向性が見えてきて、地域との接点も見えてくるというわけです。団塊の世代の方のみならず、たくさんの人の「地域デビュー」に向けて、ヒントとエールがギュッと詰まった一冊となっています。

【スタッフ 二瓶徳子】

■たがサポ文庫
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー
NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。詳しくはお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらえる機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるのと同時に、団体の支援にもつながります。



たがサポ事業紹介

…平成21年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。
みなさんのご参加をお待ちしています！



●まちと企業の幸せなカタチ ～地域貢献活動で高める！経営力と地域力

昨年12月に市内の企業・商工業者約1000社を対象とした地域貢献・社会貢献活動についての実態調査結果をもとに、NPOや町内会などの市民活動団体と共に地域づくりを進める企業からゲストをお招きし、その意義と成果についてお話をいただきます。

◆日 時：平成22年2月22日(月)

13:30～16:30(開場13:00)

◆場 所：市民活動サポートセンター
3階 大会議室

◆パネリスト：

新日本石油精製(株)仙台製油所
総務グループ マネージャー 中村延幸さん
東北労働金庫多賀城支店
支店長 北尚登さん

◆講 師：

特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター
常務理事・事務局長
CSR推進相談所 所長 紅邑晶子さん

◆定 員：50名

◆参加費：無 料

●たがサポ出前プロジェクト

「こみゆにていプロジェクト」に出前します。
地域で活躍している市民活動団体の活動紹介やたがサポの活用方法がわかるパネルなどを展示します。たがサポブースにもぜひお立ち寄りください。

◆日 時：平成22年3月13日(土)

13:00～16:00

◆場 所：多賀城小学校多目的ホール

■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休 館 日：毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

- ①市民活動の場の提供
 - ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
 - ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打合わせや事務作業などに利用できます。
 - ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
 - ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
 - ・事務用ブース(1,000円/月)
 - ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)
 - ②市民活動に関する情報の収集・提供
 - ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
 - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
 - ⑤市民活動に関する相談への対応



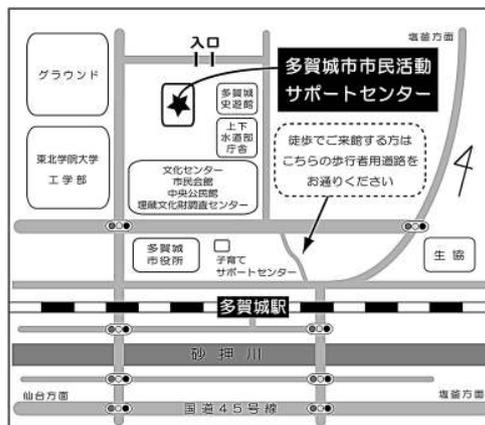
多賀城市市民活動サポートセンター
公式ホームページ
<http://www.tagasapo.org/>
事務局スタッフブログ
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック
してくださいね

■たがサポは皆さんに支えられています

□自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売(株)

□印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社との市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発 行：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706
□発行日：2010年2月20日
□編 集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター